

木童 東京支店
東京都新宿区西新宿7-7-26 ワコーし新宿第一ビル408
TEL:03-5937-5069 FAX:03-5937-5079
E-mail:tokyo@kodoh.co.jp

木童 神戸本社
兵庫県神戸市北区大沢町篠 437
TEL:078-954-0072 FAX:078-954-0257
E-mail:muku@kodoh.co.jp

★無垢フローリングと床暖房の話

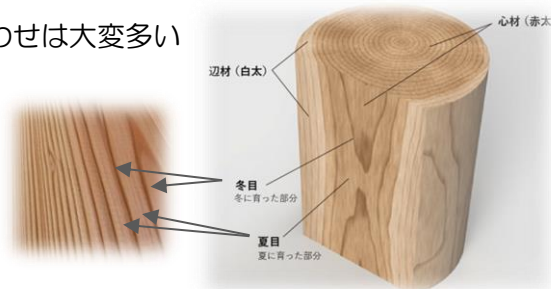
もうすぐ暦の上では「春」ですが、まだまだこたつやストーブの暖房器具から離れられない今日この頃。ちょっと本格的に薪ストーブを使うご家庭もあれば、足元からぽかぽか暖かい床暖房を愛用されるご家庭もあるでしょう。そんな中、今回は近年普及し始め根強い人気のある床暖房に関するお話し。木童にも「床暖房対応の無垢フローリングはありますか？」という問い合わせは大変多いです。ただ結論から言うと答えは「NO」です。

木には必ず夏目と冬目というものが交互にあります。夏目は春から夏にかけての暖かい時期に早く成長した柔らかい部分。反対に冬目は秋から冬にかけての寒い時期にゆっくり成長した硬い部分。夏目は柔らかい分、スポンジのようによく水分を吸放湿するのに対し、密度の高い冬目は湿気を通しにくく壁のような役割を果たします。このお互いの関係性で木は必ず膨張収縮し、木の表裏のバランスが違えば反りが発生するというメカニズム。通常下の環境でも膨張収縮するところに“床暖房”という強制乾燥を、しかも裏側の片側からのみかけるわけですから、木にとって苦しくないわけがありません。

ただ絶対に床暖房に使えないかというところではありません。例えばナラや栗といった広葉樹は夏目と冬目の差が不明瞭で硬さの差が比較的少ない木です。つまり杉などの針葉樹に比べると膨張収縮が少なくリスクが低いと言えます。また、針葉樹でも赤身でそろえることで伸び縮みのリスクを軽減することもできます。

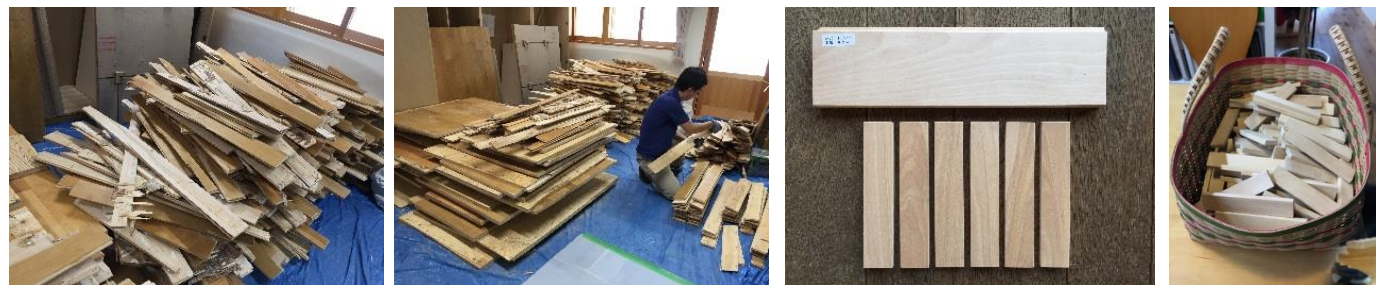


木童では床暖房に使用するにあたり、特殊な表面加工をしたり、特殊な熱処理をしたりはせず、あくまでもそれぞれの樹種に適した乾燥加工工程を守っています。その中で、床暖房の種類や施工の方法などに応じて適切なアドバイスやご提案をさせていただきます。これも無垢の木と上手に付き合うための適材適所の考え方のひとつです。床暖房を検討していてフローリング選びに悩まれている方、もっと詳しくお聞きになりたい方はぜひご相談ください。



★想いをつなぐ再利用 ～床材をブロックへ～

保育園の床材を再利用しておもちゃのブロックを作りました。床暖房のなかった部屋にも、やっぱり床暖房を導入したいということになり、施工後まだ2年も経っていない床材を剥がして張り替え工事をするということになりました。ところが、園長先生はとにかく物を大事にされる方で、“まだまだその役目を果たせたらあろうその床材を、剥がしてしまっただけからといって簡単に処分するのはどうしても心苦しい…”ということで、何とか再利用できないかと切なる思いで設計士さんを通してご相談頂きました。園児達が遊べる積み木のようなものが出来れば、ということで、剥がした床材の全てを現場で選別して持ち帰り、加工工場にて三次元の黄金比率と呼ばれる「1:3:5」(厚さ:巾:長さ)の比率の寸法のブロックに生まれ変わらせることにしました。形は単純なので大人も子供も楽しめる、可能性無限大のブロックの出来上がりです。



剥がした床材には、たくさんの釘、下地材、ボンドなどがついていて、割れもある状態だったので、加工前の処理はとて大変でしたが、手間ひまかけて一つ一つ作り、何よりも園長先生の優しい思いがこもったこのブロックで、園児達はきっと喜んで遊んでくれていることだと思います。いつもなら廃棄されるだけの床材に新たな命を吹き込むことができ、木童としても、園長先生や設計士さんの思いを形にすることが出来て本当に嬉しい限りです。

★家づくり現場レポート① T邸/千葉県 設計施工:伊佐ホームズ

千葉ののどかな土地に調和した住宅施工例を紹介いたします。木童からは1Fの床全面に土佐梅+桐油塗装を納品させて頂きました。土佐梅独特の木目が浮き立ち、美しくもあり凛々しくもあり…それがとても印象的でした。ここぞという家にはやはり“梅”です。関東地方では関西での知名度ほどはありませんが、高級材である梅は木を知る人ほど魅了される材。ファンの多くは設計士さんや大工さんという玄人志向です。今回も設計からの提案により使ってもらったことになったと聞いています。梅の床の他にも、「柱目の化粧柱」「あらわしの化粧梁」「耳付きの天板」「和室の造作」等々、随所に職人さんの技や、住まい手さんのこだわりが光っており、久しぶりに“純和風”を思い切り堪能させていただきました。



★家づくり現場レポート② S邸/埼玉県所沢市 設計:しまだ設計室 施工:相羽建設

多彩な趣味を持つ3人家族の為の新築のお家です。奥様の趣味は手刺繍。今後自宅で教室を開きたいとの事でアトリエスペースに使用する堅木のサンプルをいくつかお持ちして提案していただいた所、奥様の強いご希望で「やまとぶな」の採用が決まりました。1Fは奥様のアトリエをはじめ、リビングダイニングとキッチンにも使用。さらに2Fの多目的スペースとして使えるギャラリーホールにも使用いただきました。ボリューム感のある120巾を使用し、仕上げに木童の桐油を塗装して上品な仕上がりになりました。国産のぶなは他社で扱っている所が少なく、奥様も他にはあまりない白く女性的な木目に一目ぼれとの事でした。希少価値の高いこの材を、永くたいせつに使っていただきたいと思います。



1F リビングダイニング

2F ギャラリーホール

★家づくり現場レポート③ M邸/芦屋市 設計:H&B

閑静な住宅街に建つ2世帯住宅。周囲は高い壁が張り巡らされた閉鎖的な造りの家が多い中、このM邸はお庭のようなガレージとリビングからの大きな窓が目を引き開放的な設計になっています。1Fの若夫婦世帯は、奥様の好みでグレーを基調としたシックで落ち着いた色味で仕上げているのに対して、2Fのお父様世帯は白と無垢のナチュラルテイスト、明るい仕上がりになっています。また、樹種の違いでも1Fはナラ材の広幅の重厚な雰囲気に対して、2FはくるみのW90mmが柔らかい雰囲気を醸すなど、いずれも対照的な素材の選び方です。限られた空間の中でいろいろな表情を見ることが出来る面白い建築になっており、それらの見事な調和は、まさに“設計力”なのだと感じました。



KODOH NEWS

住宅
相談会
予定

★神戸主催★

2019年2月24日(日) 10時~16時
場所:北神区民センター2F(神戸市北区藤原台) ※1月と同じ場所です。

★東京主催★

2019年2月23日(土)
場所:木童東京支店ショールーム

※東京は予約制になります。メールかお電話で事前にご連絡をお願いします。

